

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 親和会	代表者	理事長 山崎 幸男	法人・ 事業所 の特徴	「人権尊重」、「利用者生活の質の向上」、「地域貢献」、「職員の資質・専門性の向上」、「経営基盤の確立」の確立を基に、利用者との心を通じ合う明るい施設、人間関係の温かい施設、利用者の尊重・尊厳が保たれ、自立・社会参加のできる施設を目指すことを基本理念としている。
事業所名	小規模多機能センター 絆の里 やすらぎ	管理者	田畑広子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	3人	人	人	人	1人	人	人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己管理能力を高め職員同士がお互いを尊重し、業務効率の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務を優先し職員間のコミュニケーションが十分とは言えなかったが、個々にご利用者を尊重し配慮した対応を心がけていた。</li> <li>ご利用者への理解を深めようとする職員の前向きな姿勢が感じられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部評価を受け改善に取り組むことは良いことである。</li> <li>すべての改善計画が確認できている。忙しい中頑張っている姿がよく見える。</li> <li>小規模多機能の強みとは具体的にどのようなことか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員同士のコミュニケーションを活性化し円滑な連携を図る。</li> <li>チームワークを発揮し最適なサービスが提供できるよう心がける。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の清掃や補修、花壇の整備など、気づいたときに各自率先しておこなう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>草刈りには外部のサービスを利用した。</li> <li>業務の合間に職員が交代で整備にあたった。</li> <li>感染対策も継続しておこなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>良好である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こまめな清掃を心がけ、ご利用者の立場に立って環境整備をおこなう。</li> <li>整備や清掃する事項を一覧にしてチェック化する。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策をしながら、世代間交流や福祉体験を積極的に受け入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前には船越小学校との交流会が定期的にあったが、コロナ禍よりなくなり現在も行われていない。</li> <li>地域からの相談事には柔軟に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園との交流、地元婦人クラブとの交流、福祉体験の受け入れなど、感染対策を図りながら積極的に取り組まれている。</li> <li>以前は委員に民生員もいたが今後打診してみてもどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティの場を作り人と人との繋がりを増やす。</li> <li>これまではやってこなかった交流や新しい場にも参加する。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉体験について、山田中学校の生徒を受け入れてもらったが、小学校の生徒の受け入れも打診してみてもどうか。</li> </ul>	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者家族との関係を深めるため、送迎時の挨拶や言葉かけを見直す。</li> <li>ご利用者の「できないこと」より「できること」に目を向け、その能力を生かすことができる取り組みを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所で関わっている以外の生活に関して、理解できていない部分がまだ多い。</li> <li>高齢化、重度化し、できないことが増えてきた方もいらっしゃるが、能力を生かすというところでは尊重できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々を交えた会議とは運営推進会議のことかという質問に対する回答・・・町主催の、支援を必要としている方にどのような支援が必要か話し合う会議のことか、外部評価を実施している事業者に問い合わせてみてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者が地域の中で孤立することのないよう、地域とのつながり作りの手助けをする。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討を取り入れ、さらに活発な意見交換ができる会議とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討をしたいと思っていたが、実施することができなかった。</li> <li>毎回貴重な意見を多くいただいている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討をおこなう時期をあらかじめ設定するのはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な意見がいただけるよう課題の工夫をする。</li> <li>会議の中に事例検討会の日程を組み入れる。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>突発的な災害でも適切な避難行動ができるよう、具体的な計画の策定、見直しをおこなう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害計画の策定、見直しについて、年度内に見直すことはできなかったため、今年度こそ見直し、案を練りおこないたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の防災訓練の想定に合わせて、動きの確認をしてみてもどうか。</li> <li>災害計画の策定、見直しについて、どのようにおこなわれたか。</li> <li>法人本部と無線が通じるか・・・ここなら通じるという場所を職員皆で分かっていたほうがいい。(台所でないを通じない)</li> <li>法人本部の土砂災害、ハザードマップはどうなっているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCP（業務継続計画・災害などが万が一起こった際にも業務を中断させないようするための準備をするとともに、もし業務が中断したときにもできるだけ早急に、優先すべき業務から復旧していくための手順や体制などのあらかじめ検討しておく計画）に沿った訓練・研修をおこなわない内容を周知する。</li> </ul>